

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の 利用目的及び 利用方法≫	●研究の名称 食道癌内視鏡治療後の異時性多発癌の発生にかかわる因子の探索
	●研究の対象 2010年～2030年の間に、当院で食道扁平上皮癌に対して内視鏡による治療を受けた20歳以上の患者さん
	●研究の目的 食道扁平上皮癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が実臨床で一般化され、治療後の異時性多発癌が問題となっています。内視鏡的なヨード不染やアルコール代謝関連酵素の遺伝子多型が異時性癌の発症リスクと相関することが示されています。食道癌ESD前にCTで非特異的なリンパ節腫大を認めることがあります。この所見と食道扁平上皮癌の異時性多発癌やヨード不染との関連性は、これまでに報告がありません。この研究ではヨード染色やリンパ節腫大、そのほかの因子と異時多発癌の関連性を評価することを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2030年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>提供する試料・情報の項目 ≫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究対象者背景：年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、家族歴、生活歴(飲酒歴、喫煙歴)、服薬状況 ・身体所見：身長、体重、血圧、脈拍、体温 ・臨床検査：血液学的検査(白血球数(分画)、ヘモグロビン値、血小板数)、生化学検査(例：AST、ALT、ALP、Alb、BUN、Cre)、腫瘍マーカー (SCC、CEA、CA19-9、CA125 など) ・治療前のCT 所見 ・治療前/時の内視鏡所見(局在、肉眼型、周在性、ヨード染色、超音波内視鏡所見など) ・内視鏡治療後の病理結果 ・内視鏡治療後の内視鏡やCT 評価による再発の有無 ・有害事象
<p>≪利用する者の範囲≫</p>	<p>●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 大澤恵</p>
<p>≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)≫</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。</p>
<p>≪資料の入手または閲覧≫</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 第一内科</p> <p>担当者： 石田夏樹</p> <p>TEL： 053-435-2261</p> <p>E-mail： ma03006@hama-med.ac.jp</p>